

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成26年 5月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時22分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	奥津勝子 高橋英俊 二宮加寿子 渡辺順子 坂田よう子 片野哲生 吉川重雄 高橋富美子 土橋秀雄 竹内恵美子 三澤龍夫 関 威國 鈴木京子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 二挺木政策総務部長 大槻総務課長 常松副課長兼公共施設係長 加藤財政課長 曾根田財政係長 仲手川産業環境部長 岩崎産業観光課長 由井観光の核づくり担当主幹 磯崎主事 佐野町民福祉部長 植地福祉課長 木村地域福祉係長 相田教育部長 瀬戸子育て支援課長 柳田子育て支援係長
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 議会報告会について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の3件について、お知らせを受けた。

①子育て支援関係への寄附について

4月4日に匿名で50万円の寄附をいただいた。6月に補正予算を計上していく。また、5月1日にも町内在住の2名の方から、まちづくりのためにと100万円ずつ、計200万円の寄附をいただいた。現在、有効な活用方法を検討している。

②町ぐるみ美化キャンペーンの実施について

5月25日(日)に「町ぐるみ美化キャンペーン」を町内全域で実施するので、協力いただきたい。

③生涯学習館の耐震補強・改修工事に伴う休館について

工事のため、生涯学習館を8月中休館とする。

④その他

5月17日に「大磯町新たな観光の核づくり事業」報告会を開催する。また、5月18日には合併60周年記念事業の大磯ビーチフェスタが開催される。

◎主な質疑

問： 200万円の寄附についての記載がないが、補正予算での説明はあるのか。

答： 町として使途をじっくり検討したいということで、その他寄附金に積ませていただき、今後より有効な利用方法も検討した中で補正予算を計上したいと考えている。

問： 寄附金は直ちに補正処理すべきではないのか。町の会計処理上問題は無いのか。

答： 問題ない。

(2) 町報告事項

①臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について

平成26年4月から消費税率8%への引上げに伴い、簡素な給付金として実施する臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の制度概要とスケジュールについて説明があった。

◎主な質疑

問： 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の給付対象者はどのくらいを見込んでいるのか。

答： 臨時福祉給付金は4,800～5,000人、子育て世帯臨時特例給付金は3,000人を見込んでいる。

問： 支給に係る口座振込手数料は国から補てんされるのか。

答： 全額補てんされる。

問： 個人情報保護制度運営審議会に諮問する理由は。

答： 税情報や生活保護に係る情報などを活用するため審議会に諮問す

る。

②神奈川県「新たな観光の核づくり等促進交付金」に係る事業提案について

「新たな観光の核づくり」などの地域を活性化するためのプロジェクト事業の推進を図るために創設された県の交付金を活用するため、大磯エリアから提案する事業の概要について説明があった。

◎主な質疑

問： 事業実施期間の考え方として、平成 27 年 3 月 31 日までに何が完了すればよいのか。

答： 備品購入や工事など交付金を活用した執行を年度内で完了することが条件となる。

問： 新たな観光の核づくり等促進交付事業に係る事業提案は、どのくらいの提案が見込まれるのか。

答： 30 本前後提案が提出される予定と聞いている。

問： 交付金は、大磯町新たな観光の核づくり推進協議会へ交付されるのか。協議会の構成も教えてほしい。

答： 交付金は、神奈川県から大磯町を通し協議会へ交付することとなる。なお、協議会は 21 団体で構成される。

問： 予算的な記載がないが、例えば「具体案①知名度」はどのくらい費用が掛かるのか。

答： 審査結果後、6 月議会定例会に補正予算を計上する際に具体的な数字をお示ししたい。具体案①知名度は約 500 万円、具体案②旅行のしやすさと利便性は、約 2,200 万円、具体案③受入れの質は約 750 万円、具体案④アクティビティは約 1,150 万円、諸経費や消費税を合わせ 5,000 万円となる。

問： アクティビティの具体案の記載があるが、農機具等を購入するのか。クラブハウスの整備とは、何処に何を作るのか。

答： 共有の農機具を購入したいと考えている。クラブハウスは新たに作るのではなく空き家を改築して整備を図っていく。写真はイメージとして捉えてほしい。

問： ローカルフードの充実として「鯖弁当を開発」とあるが、誰の発想か。

答： 町が単独で考えたものではない。協議会 21 団体の知恵を集めたものである。

問： 協議会 21 団体で事業を行っていく中で、この事業はこの団体と決めているのか。事業と団体を結びつけて説明してもらえると分かり易いのだが。

答： 決まっている。次回の説明時にはそのように説明したい。

問： 審査結果が落選の場合、事業はゼロになるのか。

答： 今の時点では落ちたときのことは想定していないが、これから事業を進めていく中で、例えば町の予算ではなく民間の力を借りるな

ど検討していきたい。

③平成 26 年度一般会計補正予算について

内容の説明があり、6 月議会初日に議案として提出されるため、質疑はなかった。

◎主な質疑

なし

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○5/16 議会運営委員会の概要・・・吉川委員長
(提出予定議案・9 月定例会会期予定)

○総務建設常任委員会の概要・・・渡辺委員長

4/25 (委員会) (新たな観光の核づくり認定事業・1 市 2 町ごみ処理
広域化における今後の施設整備)

(協議会勉強会) (自然エネルギーの条例制定に向けた取り組み)

5/ 7 (協議会) (火災予防条例一部改正・第四次総合計画後期基本計画
策定方針・特定地域再生計画策定事業・町税条例一部改正・小湊
綾海岸松林地区の風致地区等指定・自然エネルギーの導入推進に
向けた制度の整備)

②監査委員からの報告・・・竹内監査委員

③農業委員からの報告・・・二宮委員

④4/23 県町村議会議長会 4 月役員会・・・奥津議長

⑤その他

5/21 福祉文教常任委員会協議会及び勉強会を開催する。

(5) 協議事項

①議会報告会について

5 月 12 日の臨時議員全員協議会で配布資料等の確認を行い、各担当ご
とに説明方法の協議を行った中で、実施にあたり意見聴取を行った。

◎主な意見

なし

②その他

なし

(6) 事務局からの報告

① 6月議会定例会について

6月議会定例会における一般質問通告書、議案発送のスケジュールについて事務局から説明があり、その内容で進めることを了承した。